

クラウド型次世代認証サービス

## DAuth 導入事例

# 手軽で安全なパスワードレス認証を「DAuth」で実現

株式会社ミライム様 学校用グループウェア「ミライム」



**milim**

株式会社ミライム

### 事業内容

- 文教向けソフトウェアの開発・導入・サポート

### 導入先

- 自社開発Webサービス「ミライム」

### 課題

- 校務に利用するクラウドサービスのID・パスワードの管理

### 解決

- パスワードレス認証の導入

### 導入メリット

- 短期間でパスワードレス認証の導入が実現



株式会社ミライム  
松下真也  
代表取締役社長

PROFILE

## 校務のクラウド化が進み、IDとパスワードが溢れる

学校用グループウェアミライムは、2008年のリリース以来、全国小中高2300校への導入実績があります。校内にサーバーを設置し専用ネットワークを用いるオンプレミス型から、GIGAスクール構想などを背景に近年は7割がクラウド型へ移行しています。現在、ミライムのみならず様々なサービスがクラウド型に移行しており、教職員の管理するID・パスワードは増加する一方。さらにサービス毎にパスワードの桁数や使用する文字種などのルールが異なり管理は困難を極めます。やむを得ずパスワードを忘れないように付箋で貼るような対応も行われていました。

## FIDO2の採用へ 教職員のセキュリティへのストレスを軽減したい

パスワードの管理は、基本的にユーザーである教職員に一任されます。教職員は日常業務だけで多忙を極めていながらも関わらず、更にセキュリティ面へのプレッシャーがのしかかります。現場をよく知るクラウドベンダーとしてこの不安を軽減したいという思いがミライムの認証にDAuthを採用したきっかけです。セキュリティ技術をウォッチする中でパスワードレスを実現するFIDO2に着目し、同時期に日本情報システムのDAuthを知りました。FIDO2に対応したソリューションは少なく、ミライムが対応するには自社で実装するか、あるいはAPIとして提供されるDAuthを採用するのが比較検討を行いました。

## DAuthの大きなメリットは 短期間で簡単に実装できる手軽さ、柔軟で軽快なフットワーク

FIDO2の標準仕様に則って自社で開発した場合、初期開発工数は大きなものになります。それだけでなくアップデートする規格にも追従しなければなりません。さらに自社のFIDO2認証サーバーの立ち上げの必要があり、運用コストも継続的に発生する。自社エンジニアをミライムの開発運用に集中させるためにはDAuth導入がベストと判断しました。

## 実装からテストまでわずか1週間余りで完了

ミライムでAPIに連携するための開発スタートから、わずか1週間ほどでテストまで全てが完了。想像以上の手軽さでした。DAuthは必要な機能のみが厳選されており、組み込みが容易でした。簡単に実装でき、セキュリティのトレンドに追従するコスト、運用コストからも解放され、認証部分をアウトソースできる手軽さは非常に大きなメリットです。

## 開発元の要望へのレスポンス

日本情報システムは開発やテストを行ったミライムの技術者、試用した担当者から吸い上げた要望の中から総合的なユーザービリティの観点から必要と判断したものは迅速に対応してくれました。この柔軟さ、セキュリティ専門集団ならではのレスポンスもDAuthの大きな魅力だと考えます。

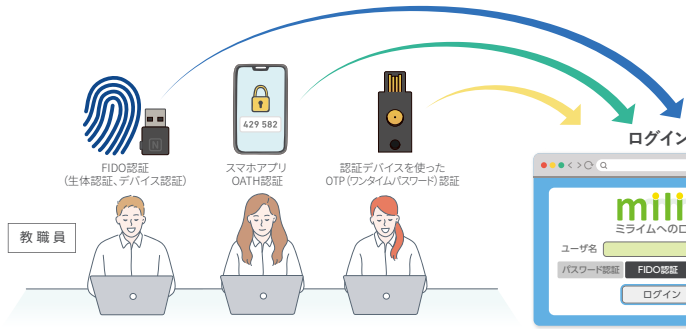


**FIDO2 (Fast Identity Online2)**  
ファイドツ

FIDOはパスワードレスで本人認証を行うための標準化された技術仕様の国際規格。標準化団体FIDO Alliance(ファイドアライアンス)には大手企業や団体250組織が名前を連ねる。最新のFIDO2はウェブ認証(WebAuthn: ウェブオースン)とデバイス連携仕様(CTAP: シータップ)により専用端末を必要とせず、一層のセキュリティと利便性向上を実現する。2022年5月にはApple、Google、Microsoftがサポート計画の拡大を表明。ウェブサイトやアプリで、デバイスやプラットフォームを問わない一貫した安全で容易なパスワードレス認証の普及を促進する。

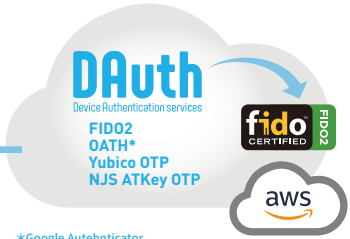


ミライムのログイン画面 FIDO2 認証に対応している



#### DAuthの概要と認証の仕組み

DAuthはAPIの提供によってスマートフォンアプリやFIDO認証器を用いたパスワードレス認証を実現する。セキュリティキーを用いた二要素認証も利用可能。FIDO2に加えて従来のOTPなどによる認証方法にも対応する。

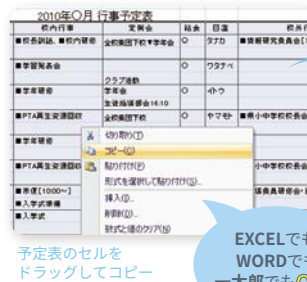


\*Google Authenticator, Microsoft Authenticatorなどのスマートフォンアプリを使った認証

## ミライムの哲学「シンプルで良いもの」と親和性が高いDAuth

自社の製品思想とDAuthのそれが近いことも採用の決め手のひとつでした。ミライムの哲学は「シンプルで良いもの」。ユーザーファーストを追求すれば機能は最小限に抑えられ、シンプルさを維持するには製品への自信が要求されます。シンプルであることはユーザーから見える表の部分は簡単な一方で、奥深く掘り進むと実は非常に難しいことをやっているということです。

例えば、学校行事を管理するスケジュール機能は、固定の枠に日時、項目、出席者などを入力するのが一般的。ファイルからのインポートもフォーマットを固定するでしょう。しかしミライムでは教職員の声を生かし、まるで黒板に書くかのような自由な入力が可能。異なるフォーマット・ソフトウェアで作られた月行事予定表が読み込まれても、フォーマットを解析しスケジュールに反映されるよう設計しています。ユーザーから見るとシンプルですが、裏では難易度の高い処理を行なっている。このような「シンプルで良いもの」の製品思想がDAuthと重なります。



予定表のセルをドラッグしてコピー

ミライム画面にペースト



ミライム スケジュール機能

## DAuth+ミライムがパスワードレス認証広まりの「きっかけ」となり、先生の負担軽減に繋がれば

ミライムは「教職員の負担を軽減すること」を目指しています。それが子どもの未来につながるからです。そう考えて、煩雑なパスワード管理やセキュリティリスクの不安から教職員を解放するために、校務の認証にパスワードレス認証を広めていきたいですね。パスワードレスが広まり、あらゆるツールの認証が変わればクラウドとの相性も向上し、相乗的に業務が効率化し教職員の負担が減っていくでしょう。DAuthとミライムによるソリューションが、その流れの「きっかけ」になったらいいですね。

## セキュリティ製品がより手間を増やすのは過去の話 まずは使ってみてほしい

教育現場にはセキュリティ製品が業務をより複雑にするという思い込みが根深くあると思います。かつて、情報漏洩を恐れるあまり利便性を軽視した運用に悩まされたイメージが強いからです。しかし実はこれは逆で、パスワードレス認証を導入すれば、今までよりもっと簡単にもっと安全になるのです。そこをしっかりと理解してもらうことがスタートです。既に多くの教育委員会がパスワードレス認証に関心を持って下さっており、1月から試用をスタートしました。ミライムでパスワードレスを体験し過去の印象を是非アップデートしてほしいですね。

## パスワードレスを保護者や子ども向けサービスへも展開

今回のDAuth実装は、1つの段階に過ぎません。スマートフォンのアプリなど専用のデバイスが不要になり一般への普及も加速、セキュリティが維持できるので、今後は教職員だけでなく子どもや保護者向けにも価値を提供していきたいですね。例えば現在は、紙や電話で行っている学校への欠席連絡やアンケートなどのやりとりも今後はDAuthを組み込んだクラウドシステムとしてリリースしたいと考えています。

機能詳細・導入事例・導入メリット

DAuthをもっと知りたい方へ

クラウド型次世代認証サービス

**DAuth**  
ディー・オース

<https://d-auth.com/>



製品に関するお問い合わせ

**NJS** 日本情報システム株式会社

<https://www.njs-net.co.jp/>

〒350-1304 埼玉県狭山市狭山台4-22-2

TEL 04-2958-2221 Email [isales@njs-net.co.jp](mailto:isales@njs-net.co.jp)

9:00~17:45 (土・日祝日及び弊社指定休日を除く)

本文中に記載されている事項の一部または、全部を複写、改修、転載することを禁じます。本文中に記載されている事項は予告なく変更される場合があります。